

## 皮膚レーザー治療の流れと注意事項について

### 【治療の流れ・経過・注意事項】

- ・施術前に麻酔の貼付剤を照射部位に使用していただきます。
- ・照射時は輪ゴムではじかれたような痛みがあります。
- ・時に出血がみられることがあります。 施術から 1 日程度は赤みやほてりが出る場合があります。
- ・照射後 1 週間は、こちらからお渡しする軟膏を塗り、テープを貼ってください。
- ・当日から洗顔やシャワー浴は可能です。テープがはがれたら、その都度処置をして下さい。
- ・治療後 1~2 週間ほどで照射部位はかさぶたになります。絶対に自分で剥がさないようにしてください。
- ・かさぶたが取れた後は少なくとも約 3 ヶ月は日焼け止めを塗るようにして下さい。
- ・かさぶたが剥がれた後、約 1~2 カ月の間に約 40~50%の方に炎症後色素沈着がみられます。

場合によっては元のしみと同等もしくは濃くなる場合があります。3~6 か月ほどかけて徐々に改善します。その間は日焼け予防をしっかりとるようにして下さい。美白剤の使用も有効なことがあります。

### 【治療回数・間隔の目安】※個人差があります。

- ・しみの場合、通常 1 回の治療で除去されますが、色素が残ることもあり 2 回以上の治療が必要な場合があります。雀卵斑・扁平母斑など疾患によっては再発したり、もとの状態より濃くなったりすることがあります。
- ・2 回目以降は 3~6 カ月空けて照射します(炎症後色素沈着が落ち着いてから照射します)。
- ・ADM、太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症の場合は、5 回以上、3 カ月以上空けて照射します。  
(炎症性色素沈着がある場合には 6~12 カ月程度空けることがあります。)

### 【稀に起こる症状】

熱傷 色素脱失 毛包炎 痛み 痒み

### 【施術前の確認事項】

- ・既往歴、現病歴、手術歴、内服薬や妊娠、授乳、出産、アレルギーなどについては、事前に必ず申告してください。
- ・1ヶ月以内に行った美容施術の内容、使用しているスキンケア用品を申告してください。（レチノール、ピーリング作用のある化粧品、過酸化ベンゾイルなどのざ瘡治療薬）
- ・上記の申告のない場合、副反応については当院では一切責任を負いかねます。  
※ピーリング、レチノール、ざ瘡治療薬の塗布は2週間以上前から中止してください。

### 【禁忌】（以下に該当する方は治療実施できません）

- ・金製剤の使用歴がある方（シオゾール、グレリース、リザベラ、リドーラ等）
- ・治療部位に金の糸を入れている方。
- ・妊娠中、産後3ヶ月以内の方
- ・悪性腫瘍の治療中の方
- ・心臓疾患のある方
- ・ペースメーカーが入っている方
- ・施術部位に感染症（ヘルペスなど）が見られる方、皮膚悪性腫瘍の既往がある方
- ・ケロイド体質の方
- ・肝斑の炎症が強い方、肝斑のある部位
- ・眼窩への照射
- ・てんかん
- ・全身性感染症
- ・光線過敏症の方
- ・出血性疾患のある方
- ・創傷治癒に問題がある者（糖尿病、自己免疫疾患、膠原病）
- ・その他医師が望ましくないと判断した場合

**【要注意】(以下に該当する方は、主治医にご相談してください)**

- ・授乳中
- ・日焼けしている方、治療後に日焼けする予定がある方
- ・レーザー照射部位に皮膚疾患がみられる方（アトピー性皮膚炎、炎症性ざ瘡など）
- ・流産、中絶から3ヶ月以内
- ・プロテアーゼ、アクアミドインプラントなどの注入部位
- ・高血圧症
- ・抗凝固剤、抗血小板薬、血管拡張薬を内服中の方

**【治療前後のお願い】**

- ・産毛の剃毛（治療前）
- ・トラネキサム酸の内服
- ・日焼け止めの使用

**【その他】**

洗顔、化粧直しのスペースはございません。事前に化粧を落としてご来院ください。  
トーニング施術後の方は当院で保湿剤、日焼け止めをご用意します。